

1.学校教育目標

- ・本校の理念である、明るく、元気、笑顔を通して、お客様に好かれる美容師に育てる。
- ・サロンワークに必要な技術と知識をマスターし、活躍できる美容師を育てる。
- ・「美」を追求し、可能性を広げる。

2. 本年度に定めた目標、計画

- ・国家試験100%合格
- ・就職率100%を目指す。

令和5年度 自己評価 アンケート及び今後の改善点について

評価 5・4・3・2・1 十分できた5 例年並み 3 全くできなかった1

教育理念、教育目標について	評価
・教育理念、目的、育成人材像は定められているか。	4
・学校の将来の構想を描くため、業界のニーズ、動向を調査しているか。	4
・学校の教育理念、目的、学校の特徴などが学生、保護者に周知されているか。	4

自己評価のまとめ

- ・入学前オリエンテーションや入学式などで本校の教育理念について学生および保護者に説明している。
- ・業界のニーズ、社会現場で求められる人材育成の為、2年次よりサロン研修を行い、早い段階で現場に慣れさせる教育を行っている。

学校運営について	評価
・長期的な学校運営プランが作られているか	3
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・専任教員は、適正に配備されているか(時間数や免許の有無)	3.5
・学生及び保護者からの要望苦情等での速やかな対応がされているか	4

自己評価のまとめ

- ・毎年1回保護者会を行い、保護者との意見交換の場としている。また、就職ガイダンスにも保護者の参加を可能とし、
- ・保護者目線での就職、逆に美容業界について、全く分からない保護者の方にも説明することで、相互のギャップを埋める取り組みをしている。

教育活動	評価
・すぐれた人材育成の為の教員を確保しているか。	3
・実技と講義が連動し、効果的学習に配慮されている	4
・常勤だけでなく非常勤の先生方にも教育理念や生徒への伝え方など改善できるところはしていく。	3.5
・学生、保護者に対し成績評価、単位認定の基準などきちんと理解を得ているか。	3

自己評価のまとめ

- ・より実践的で実用的(卒業後)もサロンで役にたつ授業内容を考えていく。
- ・受動的な授業から、自ら考えて行動できる能動的に動ける人材への教育を目指す。

学生に対する様々な支援体制の整備、教育環境	評価
・退学率の低減が図られているか	2.5
・本人の進路への意識について高めることができているか	3.3
・防災に対する体制は、整備されているか	2.3
・進路、就職に関する支援体制ができているか	4.3
・奨学金など、学生の経済的側面に対する支援体制は、整備されているか	3.8

自己評価のまとめ

- ・退学率は、年によって変わるので低減できるようにしたいが、入学までは、情熱のあった学生も入学後、何か違うと退学してしまうので、その心情を理解するのが難しくなっていると感じる。
- ・昔に比べて、奨学金を希望する学生が増えており、また2年次から奨学金を希望する学生もいることから、世帯収入

の急な減少など、社会をとりまく環境が変わってきていると感じる。奨学金も税金であり、結局は、親の増税、収入減で普通家庭が奨学金を借りないと、卒業までできない。また、卒業後も返済が長期化することもあり、その後の学生の将来を考えると、しっかりとした説明が必要と考える。

財務	評価
・財務について会計監査が行われているか	4
・財務情報公開の体制はできているか	4
・中長期的に学校の財務は、安定しているといえるか	3

自己評価のまとめ

- ・入学者も定員充足しているが、校舎の老朽化も進んでおり、今後、中長期的計画の必要性を感じる。
- ・学校をより活性化する為、役職者のみの情報共有がいいのか、従業員にも多少の周知をさせていくのか、考えどころだと思う。

学生募集	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学校案内に学費、受験料、教材費等が明示されているか	4.5

自己評価のまとめ

- ・物価の高騰により、教材行事費を値上げしたが、学生生活最後となる学生もいるので行事で楽しんでもらえるように今の時代に合った、方針を考えていく。

法令等の遵守	評価
・法令、専修学校設置基準等の適正な運営がされている	4.9
・高校生のデータ（紙ベースのもの）の管理をしっかりとしていく。個人情報の保護	4.5
・学生の声を聞いて学校がより良くなるようにしていく。（学生アンケートの実地）	3

- ・教育基本法及び学校教育法、美容師要請施設指定規則の順守を念頭に学生、教職員の生活の質向上に努めている。
- ・毎年、就業規則を労使協定で確認し、労働基準監督署への届け出を行っている。

社会貢献、地域貢献	評価
・学校の教育資源を活用した社会貢献を行っている	2.5
・社会に貢献できる学生の育成に取り組んでいるか	4

自己評価のまとめ

- ・社会に貢献できる学生の育成に取り組んでいるが、実際、学校の中と社会の現場では、厳しさも違うので、どの程度まで厳しく指導していくのか、模索する時代である。
- ・愛知赤十字血液センターの献血に貢献している。

令和5年 教育充足度アンケート

評価5・4・3・2・1で○をつけてください。最後にご意見の記入もお願いします。

アンケート項目	1	2	3	4	5
1、学校は、楽しい	1	7	20	27	56
2、授業は、わかりやすい	3	7	34	38	36
3、先生達は、学生のことを理解してくれようとしている。	0	1	17	42	53
4、学校は、各種資格試験に力を入れている。	1	0	17	35	59
5、学校は、国家試験の準備に力をいれている。	1	0	7	34	70
6 自分の母校の学校を進めたい	5	3	22	39	42
7 就職指導など充実している。	1	4	17	32	58
8 学校の設備が充実している。	6	14	45	21	27
9 悩みなど相談しやすい環境がある。	3	8	32	26	47
10 選択授業を楽しみにしている。	2	11	34	29	46

こんなところが魅力などありましたら、書いてください。

- ・就職が早く決まる
- ・先生と距離が近い
- ・相モデル、相モカラーなど生徒同士の話す機会が多く、コミュニケーションが取りやすい。
- ・校則がしっかりしているので、頑張っている人を巻き込む人がいないのがよい。

こんなところが改善できたらという点がありましたら記入ください。

- ・お金を取られる。
- ・すぐ学校が壊れそう、もろい、
- ・生徒との距離が近いのは、いいが、生徒が【話を聞かない】場合もあるので、それは、違うと思う。
- ・授業中、うるさくて聞こえないことが多い。(保健、香粧品)
- ・トイレが少し汚い。
- ・机がガタガタ。
- ・ロッカーが小さい。更衣室が狭い。

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

衛生専門課程美容学科 令和5年度														
必須	選択必須	授業科目	授業科目	配当年次	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業との連携
							講義	演習	実習	校内	校外	専任	兼任	
○		美容技術理論	美容機器や美容器具の正しい取り扱い方法や、美容の基礎技術を理論的に理解する。	1・2年生	150	5	○			○		○		
○		美容実習	養成施設や美容店で務めるための実習に、基礎的な操作を身につける。これを適宜組み合わせ、完成させる技術を修得します。	1・2年生	900	30			○	○		○		

合計 35単位

教員一覧

専任・兼任	教員名	担当教科
専任	犬塚 清孝	運営管理・文化論・ビジネス
専任	渡辺 賢	美容保健、運営管理、文化論、衛生管理
兼任	寺田 宣弘	美容技術理論、文化論
専任	惣慶 実花	美容技術理論、美容実習
専任	森(柴田)愛	美容実習、美容技術理論
専任	廣瀬(黒川)友紀	美容実習、美容技術理論
専任	井上(神野)美咲	美容実習、美容技術理論
専任	濱田 昌志	美容実習、美容技術理論
専任	松本 莉奈	美容実習、美容技術理論
専任	加藤 千明	美容実習、美容技術理論
兼任	神谷 昭男	衛生管理
兼任	三輪 幸也	香粧品
兼任	竹内 元宣	関係法規、運営管理
兼任	小林 弘志	美容保健
兼任	渡辺 義孝	美容保健
兼任	藤居 志津子	文化論
兼任	祖父江 由美子	カラーコーディネイト
兼任	中川 博江	デッサン
兼任	高橋 由理	ネイル
兼任	畑 英理	メイク
兼任	藤永 綾子	美容実習、美容技術理論
兼任	中根 美香	まつ毛エクステ
兼任	天野 正光	運営管理

専任名 9名 兼任名 14名